食中毒・集団胃腸炎の行政検査を受けられた方へ

当所では、食中毒および集団胃腸炎の発生時に、行政機関や保健所からの依頼に基づき、病原微生物および原因物質の検査を行っています。提供された検体の検査結果は各保健所を通してお返ししています。

本検査でご提供いただきました検体やそれに付随の情報につきましては、検査終了後、研究目的で利用させていただくことがあります。これらの研究は当所倫理審査委員会の承認を受けており、ご提供いただきました検体や情報は匿名化処理を行い、ご提供者の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

研究題目		大腸菌細胞接着因子・病原因子の網羅的探索ならびに遺伝子検出・解析技術の確立(2203-01-3)
1.	研究対象者	2019 年（令和元年）8 月 1 日以降 2027 年（令和 9 年）10 月 31 日の間に当研究所に搬入された糞便の提供者のうち、無症状者を研究対象とします。
2.	研究概要	本研究は、健康なヒト由来の糞便試料から大腸菌を分離培養し、ヒト細胞への接着を担う線毛遺伝子の保有状況およびこれらの遺伝子配列解析を行い、その役割を明らかにすることを目的としています。線毛遺伝子の研究によって未だ解明されていない病原性大腸菌やサルモネラのヒト細胞への感染初期の動態を始めとする感染症の発症機構が明らかとなり、感染症や食中毒の予防対策や創薬研究への発展に繋がることが期待されます。
3.	研究期間	令和７年１月１日から令和９年 12 月 31 日
4.	研究に用いる試料・情報の種類	試料：糞便 情報：検体採取年月
5.	外部への試料・情報の提供	共同研究機関へは糞便の増菌培養液を提供し、情報は匿名化して提供します。対応表は、匿名化処理担当者（微生物課長）が保管・管理します。
6.	研究責任者	微生物課　主幹研究員　中村寛海
7.	共同研究機関	大阪公立大学大学院生活科学研究科　教授　和田崇之

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、支障がない範囲内で、倫理審査申請書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、検体・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者の方もしくはその代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも研究対象者の方に不利益が生じることはありません。ただし、中止を希望されたとき、すでに研究結果が公表されていた場合は、結果を破棄することができない場合がありますのでご了承ください。

「お問い合わせ先」
大阪健康安全基盤研究所　微生物課
電話番号：06-6771-3148
E-mail：hirom-nakamura@iph.osaka.jp